



優秀賞

岡山県 津山支部
「社会福祉活動の支援及び
地域貢献活動の推進」事業



津山支部 支部長
福田龍雄さん

福祉の市、安全・安心な市を
目指して市民に喜ばれる
社会貢献活動を実施

市民貸出用の車椅子やチャイルドシートを寄贈
岡山県北部・美作地方の中心都市として知られる津山市。津山藩の城下町であり、出雲街道の宿場町としても栄えた歴史ある町である。この地に拠点を置く岡山県遊技業協同組合津山支部では、地元の津山市を温かい福祉の市、安全・安心の市とするため、社会福祉事業や地域貢献事業に継続的に取り組んでいる。

まず、社会福祉事業として実施しているのが、1996年から継続している車椅子やチャイルドシートなどの寄贈である。直接的には津山市社会福祉協議会に対して寄贈するものだが、同社会福祉協議会では、これを希望する市民に無料で貸し出している。

寄贈先を特定の団体に限定すると、それを使うことができるのは寄贈された団体の関係者ということになりがちだが、この方式であれば、広く市民全般が利用できる。また、福祉用具やチャイルドシートは、必要なときだけ、あるいは一定期間だけ利用したいという人もおり、各自がそれぞれに購入することは、ある意味では不経済にもなりかねない。自転車や自動車を共同利用する「シェアリング」という考え方がエコロジーという観点からも注目されているが、津山支部が寄贈した車椅子やチャイルドシートの社会福祉協議会による貸し出しも、一種のシェアリングと言える。

この事業では、これまで車椅子、介助用車椅子、自走式車椅子、リクライニング式車椅子、介護リフト、歩行器、チャイルドシート、ベビーカー、ベビーベッドなど合計281点、総額にして1625万円が寄贈され、高齢者や小さな子どもを持つ子育て中の主婦らに喜ばれている。

津山支部には、昨年10月に開催された岡山県総合社会福祉大会において、福祉ボランティア活動団体としての功績が認められ、岡山県保健福祉部長から表彰状が贈られた。



寄贈した車椅子や歩行器等



目録を贈呈する福田支部長



ホールの駐車場出入口付近に設置されたパトライト



パトライト設置活動に対して津山警察署長等から贈られた感謝状

社会福祉協議会への寄贈の様子は、毎年のように地元紙の津山朝日新聞、山陽新聞などが取材して掲載しているため、地域住民の認知度も高い。

ホール入口の路上にパトライトを設置

さらに、津山支部では、津山警察署管内防犯連合会、津山交通安全協会、津山警察署と協力し、安全・安心な町づくりにも取り組んでいる。昨年の具体的な活動としては、津山市内で刑法犯の発生や交通事故の発生が増加しているため、支部に加盟する組合員16ホールの駐車場出入口付近にパトライトを設置した。これはパトカーや救急車などに装備されているような赤色の回転灯である。

パトライトがロードサイドにあることで、道路における緊張感が高まり、街頭犯罪防止や交通事故防止に効果があるとされている。この設置が評価され、防犯連合会、津山交通安全協会、津山警察署から津山支部に対して表彰状と記念品が贈られた。

地道な活動ではあるが、地方都市において、これだけ組織的、継続的に社会福祉事業や安心・安全な、町づくり事業に取り組んでいる業界や団体は、そう多くはない。それだけに津山支部の活動は、住みやすい津山市を実現するために欠かせないものとなっている。津山支部では、今後も可能な限り、継続して社会貢献活動や地域支援活動を推進していく決意である。